兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	学年	１年	履修対象	全員
教科書・副読本	『精選現代の国語』（東京書籍）、『三訂版　ほんものの力がつく現代語練習帳　ことのは』（いいずな書店）、『学習者用デジタル版プレミアムカラー国語便覧』（数研出版）、『中高生のための文章読本　読む力をつけるノンフィクション選』（筑摩書房）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 **思考力・判断力・表現力** 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。 **主体的に学習に取り組む態度** 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	**知識・技能** 定期考査・課題考査 指名音読・発問に対する返答 **思考力・判断力・表現力** 定期考査・課題考査 発問に対する返答 発表・報告 **主体的に学習に取り組む態度** 授業態度・提出物・小テスト・課題考査 課題・発表などへの取り組み状況

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	① 自己と他者 ・「まだ知らない自分に出会う」松村圭一郎 ・「届く言葉」内田　樹	・本文の内容や論理の展開を捉える。 ・自己の体験に照らしながら評論を読み、自己と他者について考える。 ・語句や漢字を文や文章の中で活用する。
	② 認識を深める ・「水の東西」山崎正和 ・「不思議な拍手」細馬宏通	・本文の内容や主題に至る論の構造を把握し、筆者の主張をつかむ。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように説明のしかたを工夫する。 ・東西の対比関係を整理し、日本の水文化に見られる特徴を読み取る。 ・積極的に場面の様子を捉え、学習課題に沿って考えの進め方を整理し本文中の実験から筆者が推測していることを理解しようとしている。
2学期	③ 言葉と社会 ・「言葉は世界を切り分ける」今井むつみ ・「時間と自由の関係について」内山　節	・多言語と比較することで言葉の意味の在り方を理解し,言葉に関心を持って言語生活を豊かにする。 ・時間と自由の関係についての筆者の主張を的確に読み取り、必要に応じてその内容を要約する。 ・今までの学習を生かして筆者の主張をまとめる。
	④ 共に生きる ・「真の自立とは」鷲田清一 ・「自立と市場」松井彰彦	・「自立」の在り方について考察する評論を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。 ・比喩や具体例に注意して内容を読み取り、自立とそれを支えるものの関係について考えを深める。
3学期	⑤ 世界を広げる ・「無駄と進化」中屋敷均 ・「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」松田雄馬	・事例に則して内容を正確に読み取り、遺伝子ステムにおける変異の意義を理解する。 ・人工知能に関して人間と比較しながら論じた評論を読み、両者の違いについて考える。 ・対比関係に注意して、筆者の主張を読み取る。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】１学年全員（一般クラス、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	学年	１年	履修対象	全員
教科書・副読本	『精選言語文化』（東京書籍）、『古文・漢文を一所に学ぶ　古典の手引き・定着ノート』（いいずな書店）、『学習者用デジタル版プレミアムカラー国語便覧』（数研出版）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 **思考力・判断力・表現力** 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 **主体的に学習に取り組む態度** 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	**知識・技能** 定期考査、課題考査 指名音読、発問に対する返答 **思考力・判断力・表現力** 定期考査、課題考査 発問に対する返答、発表 **主体的に学習に取り組む態度** 授業態度、提出物、小テスト課題・発表などへの取り組み状況

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	古文学習の調べ 児のそら寝	・古文を読解するための基礎知識である歴史的仮名遣い・活用・品詞の種類を習得する。 ・親しみやすい古典文章に触れ、味わうことができる。
	訓読の基本	・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。
	なよ竹のかぐや姫	・古文を読解するための基礎知識として用言の活用を習得する。 ・物語における表現の特色を理解し、かぐや姫の成長の様子を読み取る。
２学期	I was born	・詩独特の表現技法や構成を理解する。
	伊勢物語	・古文を読解するための基礎知識として助動詞・助詞のはたらきを習得する。 ・和歌に込められた心情を読み取り、話の中で和歌が果たしている役割を捉える。
	土佐日記	・人々の心情を読み取るとともに、作者の表現の工夫や執筆意図を理解する。
	狐借虎威	・漢文の訓読に慣れるとともに、故事成語の由来となった故事を読解する。
３学期	平家物語	・古文を読解するための基礎知識として、助動詞・助詞のはたらきを習得する。 ・和漢混交文の特徴や表現の工夫を理解するとともに、当時の人々の考え方を捉える。
	絶句と律詩	・漢詩の形式や技法を理解するとともに、作者が自然や人事に向けた思いを読み取る。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】１学年全員（一般クラス、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	学年	１年	履修対象	全員
教科書・副読本	『新版公共』（数研出版、公共713）、『公共整理ノート』（数研出版）、『ライブ！2023公共、現代社会を考える』（帝国書院）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 選択・判断の手がかりとなる概念や理論，および倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに，資料からさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 **思考力・判断力・表現力** 現代の諸課題について，事例を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 **主体的に学習に取り組む態度** 国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	**知識・技能** 定期考査・課題考査・小テスト・提出物・討議・発表など **思考力・判断力・表現力** 定期考査・課題考査・小テスト・提出物・討議・発表など **主体的に学習に取り組む態度** 授業にとりくむ姿勢、提出物・討議・発表など

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	第１章「公共的な空間をつくる私たち」 第２章「公共的な空間における人間としてのあり方生き方」	・青年期と自己形成、ギリシア思想や中国思想など先哲の思想、三大宗教の内容などについて理解を深める。主体的に追究・考察し、自らのものとしようとする。 ・地球環境問題や資源・エネルギー問題など現代の諸課題について理解を深め、公共的な空間における人間としてのあり方生き方を考える。主体的に追究・考察し、自らのものとしようとする。
２学期	第３章「公共的な空間における基本原理」 第４章「現代の民主政治と政治参加の意義」 第５章「現代の経済社会と経済活動のあり方」	・民主社会の基本原理、日本国憲法の三大原理や憲法が保障する権利などについて理解を深める。主体的に追究・考察し、自らのものとしようとする。 ・日本の政治機構、選挙のしくみや政党の役割、地方自治の現状と課題などについて理解を深める。主体的に追究・考察し、自らのものとしようとする。 ・経済のしくみと市場機構、財政と金融、日本経済のあゆみと変化、雇用・労働問題や社会保障について理解を深める。主体的に追究・考察し、自らのものとしようとする。
３学期	第６章「国際社会の動向と日本の役割」 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・国際法の意義、国際連合の役割と組織、国際政治の動向と日本の役割、国際経済の動向や課題と国際協力の意義などについて理解を深める。主体的に追究・考察し自らのものとしようとする。 ・現代社会の諸課題について、その課題の所在や現状などについて理解を深める。諸課題について、資料を収集・選択、分析するなど主体的に追究・考察し、自らのものとしようとする。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝５：３：２ 【評価母集団】１学年全員（一般クラス、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	学年	１年	履修対象	全員
教科書・副読本	『明解歴史総合』（帝国書院、歴総706）『明解歴史総合ノート』（帝国書院）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 世界と日本を広く相互的な視野からとらえ近現代の歴史について理解する。 資料から情報を調べまとめる技能を身につける。 **思考力・判断力・表現力** 歴史事象の意味や意義などを相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面・多角的に考察する。 考察したことを説明し議論したりすることができる。 **主体的に学習に取り組む態度** 近現代の歴史についてよりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。	**知識・技能** 定期考査・課題考査・小テスト・提出物・討議・発表など **思考力・判断力・表現力** 定期考査・課題考査・小テスト・提出物・討議・発表など **主体的に学習に取り組む態度** 授業にとりくむ姿勢、提出物・討議・発表など

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	1-1歴史と私たち 1-2歴史の特質と資料 ［2］近代化と私たち 1江戸時代の日本と結びつく世界 2欧米諸国における近代化 3近代化の進展と国民国家の形成 4アジア諸国の動揺と日本の開国	身近な事象と歴史のつながりについて考察し考えを表現する。 資料の重要性、事実と解釈を分けた適切な読みとりなどについて理解する。 18 世紀の日本やアジア、ヨーロッパはどのように結びついていたのか －交易の様子を概観しその影響を理解する。交易の意義と地域の変容について考察し表現する。 市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したのか －市民革命・産業革命の経緯を理解する。その影響などを考察し表現する。 近代化の進展とともにどのような国家が形成されていったのか －国民国家の形成・発展を理解し、その影響などを考察し表現する 欧米諸国の進出にアジア諸国や日本はどのように対応したのか －アジア諸国の変容について理解する。その歴史的意義を考察し表現する。
2学期	5近代化が進む日本と東アジア ［3］国際秩序の変化や大衆化と私たち 1第一次世界大戦と日本の対応 2国際協調と大衆社会の広がり 3日本の行方と第二次世界大戦 4再出発する世界と日本	日本や東アジア諸国は近代化を通じてどのように変化していったのか －明治維新やアジア諸国の変容について理解する。その影響やその変容がどのような課題をあたえたかについて考察し表現する。 第一次世界大戦は世界の人びとにとってどのような戦争になったのか －大戦の経緯と社会の変化について理解し、その影響などを考察し表現する。 世界各地に広まった大衆化とはどのようなものか －国際秩序と大衆社会の特徴や生みだした課題を理解し、考察・表現する。 大衆はなぜ戦争に協力していったのか－ファシズム体制から終戦に至るまで －世界恐慌から終戦に至るまでの経緯について理解し、考察・表現する。 第二次世界大戦を経て国際秩序はどのように変化したのか －戦争経験が人びとになにをもたらしたのかを理解し、考察・表現する。
3学期	［4］グローバル化と私たち 1冷戦で揺れる世界と日本	「グローバル化」について考察し、現代的な諸課題の形成と展望を考える。 冷戦が展開されるなかで日本や世界の国々はどのような選択をしたか

	2多極化する世界 3グローバル化のなかの世界と日本	ー冷戦下の各国の動向、生みだした課題について理解し、考察・表現する。 冷戦下、日本や世界の国々はどのような成長・変化を遂げたのか ー各国の選択と成長・変化やその意義について理解し、考察・表現する。 グローバル化は世界をどのように変えたのか ーグローバル化の特質や生みだした課題について理解し、考察・表現する。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】１学年全員（一般クラス、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	学年	１年	履修対象	全員
教科書・副読本	『数学Ⅰ Advanced』（東書　数Ⅰ701）、『 PRIME 数学Ⅰ＋A』（東京書籍）、『ﾁｬｰﾄ式 解法と演習 数学Ⅰ＋A』（数研出版）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 数と式，図形と計量，２次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟 **思考力・判断力・表現力** 数学を通じて、事象を数学的に考察し、数学的表現力を培う。 **主体的に学習に取り組む態度** 数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。	**知識・技能** 定期考査および小テスト **思考力・判断力・表現力** 授業ノート、提出課題 **主体的に学習に取り組む態度** 授業への取り組み、発表等を総合的に判断

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	1章　数と式 1節　式の計算 2節　実数 3節 1次不等式 2章　集合と論証 1節　集合 2節　命題と論証 3章　2次関数 1節　関数とグラフ	1　単項式と多項式 式についての用語の意味を理解する。また，特定の文字や式の次数への着目を通して，式について多様な見方をすることができる。 2　多項式の加法・減法・乗法 多項式の加法・減法，指数法則，多項式の乗法について基本的な計算ができる。 3　因数分解 乗法公式と関連付けながら因数分解の公式を理解し，たすき掛けを含む因数分解ができる。 1　実数 中学校までに学習した数を分類，統合し，実数について理解する。また，絶対値の定義を数直線と関連づけて理解し，絶対値の性質について理解する。 2　根号を含む式の計算 平方根の定義を理解し，根号を含む式の計算をすることができる。また，分母の有理化を理解し，分母に根号を含む基本的な分数について有理化したり計算したりすることができる。 1　不等式とその性質　　2　1次不等式の解法　　3　不等式の応用 不等式を解くことの意味を理解する。また，不等式の性質をもとに1次不等式を解く方法を考察するとともに，その解を求めることができる。 1　集合 集合に関する基本的な概念を理解し，集合と要素の関係や集合どうしの関係について記号や図を用いて適切に表現することができる。またド・モルガンの法則を理解し，利用することができる。 1　命題と条件 命題や条件に関する基本的な概念を理解する。また，命題の真偽や条件どうしの関係を，条件が満たすもの全体の集合の包含関係と関連付けて考えることができる。 2　論証 命題の逆・裏・対偶を理解し，対偶を利用した証明法や背理法を用いて簡単な証明をすることができる。 1　関数　　2　2次関数とそのグラフ　　3　2次関数の最大・最小 定義域に応じて，2次関数の最大値・最小値を，グラフを利用して求めることができる。また，日常の事象の問題解決に2次関数を活用することができる。 4　2次関数の決定 2次関数のグラフについて，与えられた条件を満たす2次関数を求めることができる。
2学	2節　2次方程式・	1　2次方程式の解法　　2　2次方程式の実数解の個数 2次方程式$ax^2+bx+c=0$の実数解の個数と判別式$D=b^2-4ac$の符号との関係を理解

期	2次不等式 4章　図形と計量 1節　鋭角の三角比 2節　三角比の拡張 3節　三角形への応用	する。 3　2次関数のグラフとx軸の共有点　　4　2次不等式　　5　2次不等式の応用 関数のグラフを利用して不等式を解く方法を理解し，2次不等式を2次関数のグラフを利用して解くことができる。 1　直角三角形と三角比　　2　三角比の相互関係 鋭角の三角比の意味を三角形の構成要素間の関係に関連付けて理解し，様々な場面に応用することができる。 1　三角比と座標　　2　拡張した三角比の相互関係 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し，0°から180°までの三角比を求める方法を理解する。また，三角比のとり得る値の範囲や直線の傾きと正接の関係について理解する。 1　正弦定理 三角形の辺と角，外接円の半径の間に成り立つ関係を考え，正弦定理を導くことができる。また三角形の決定条件と関連付けて正弦定理を理解し，利用することができる。 2　余弦定理 三平方の定理の拡張として，三角形の辺と角の間に成り立つ関係を考え，余弦定理を導くことができる。また，三角形の決定条件と関連付けて余弦定理を理解し，利用することができる。 3　三角形の面積 三角形の面積を，三角比を用いて表す方法を理解する。また，円に内接する四角形の面積を求めることができる。 4　空間図形の計量 空間図形の構成要素に着目して，三角比を空間図形の計量に応用することができる。
3学期	5章　データの分析 1節　データの散らばりの大きさ 2節　データの相関 3節　データの分析の応用 4節　仮説検定の考え方	1　データの分布とグラフ　　2　分散と標準偏差　　3　分散、標準偏差の性質 データの散らばり具合を数値で表す方法の考察を通して偏差，分散，標準偏差を理解し，それらの値を求めることができる。また，分散や標準偏差を利用して複数のデータの散らばりの大きさを比較することができる。 1　散布図と相関関係 2つの変量の組からなるデータについて，散布図および相関係数を用いて相関関係を捉えることができる。また，外れ値を知り，外れ値の統計量への影響について理解する。 1　データの分析を利用した問題の解決 統計的手法を用いた問題解決の枠組みについて知る。また，目的に応じて複数のデータを収集し，適切な統計量やグラフや手法を選択して分析を行い，データの傾向を把握して問題解決に利用することができる。 1　仮設検定の考え方 仮説検定の考え方を理解し，仮説検定の考え方を利用して不確実な事象に関する主張の妥当性について考察することができる。

履修条件・注意事項等	週末課題、復習課題、長期休業時の課題を丁寧に行い、提出する。 授業の確認問題、復習問題である小テストにはしっかり学習して取り組む。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】１学年全員（一般クラス、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	学年	１年	履修対象	全員
教科書・副読本	『数学A Advanced』（東書　数A701）、『PRIME 数学Ⅰ＋A』（東京書籍）、『ﾁｬｰﾄ式 解法と演習 数学Ⅰ＋A』（数研出版）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 場合の数と確率、整数の性質、図形の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟 **思考力・判断力・表現力** 数学を通じて、事象を数学的に考察し、数学的表現力を培う。 **主体的に学習に取り組む態度** 数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。	**知識・技能** 定期考査および小テスト **思考力・判断力・表現力** 授業ノート、提出課題 **主体的に学習に取り組む態度** 授業への取り組み、発表等を総合的に判断

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	1章　場合の数と確率 1節　場合の数	1　集合の要素の個数　　2　樹形図と場合の数 3　順列　　4　組合せ 集合の要素の個数に関する基本的な関係を理解し，日常の事象の問題解決に活用することができる。 樹形図を用いた数え上げや，和の法則，積の法則という数え上げの原則を理解し，場合の数を求めることができる。 順列の意味を理解し，その総数を求めることができる。また，状況に応じて，場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 組合せの意味を理解し，その総数を求めることができる。また，状況に応じて，場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。
	2節　確率とその基本性質	1　事象と確率　　2　確率の基本性質 事象という観点から確率を捉え直し，確率の意味を理解する。 確率の基本性質について集合と関連付けながら理解し，性質を利用して確率を求めることができる。
	3節　いろいろな確率	1　独立な試行の確率　　2　反復試行の確率 3　条件付確率　　4　期待値 独立な試行の意味を理解し，独立な試行の確率を求めることができる。また，状況に応じて，確率を求める方法を多面的に考察することができる。 反復試行の意味を理解し，反復試行の確率を求めることができる。また，状況に応じて，確率を求める方法を多面的に考察することができる。 条件付き確率の意味と確率の乗法定理について理解し，条件付き確率を求めることができる。また，状況に応じて，確率を求める方法を多面的に考察することができる。 期待値の意味を理解し，期待値を求めることができる。また，期待値を意思決定に活用することができる。
2学期	2章　図形の性質 1節　三角形の性質	1　内分・外分と三角形の重心　　2　三角形の外心・垂心 3　角の二等分線と三角形の内心　　4　三角形における比の定理 内分や外分について理解する。また，三角形の重心の定理について理解する。 三角形の外心の定理，三角形の垂心の定理について理解する。また，三角形の重心・外心・垂心の関係について，論理的に考察し説明することができる。 角の二等分線と比の定理について理解する。また，三角形の内心の定理について理解する。 メネラウスの定理，チェバの定理について理解し，論理的に考察し説明することができる

	2節　円の性質 ３節　空間図形	。 １　円周角の定理とその応用　　２　方べきの定理 ３　２つの円　　４　内分点の作図と平方根の作図 同一円周上にある点を結んでできる角についての様々な定理を理解し，利用することができる。また，これらの定理の関係について，統合的に考察することができる。 接線の長さの定理，方べきの定理とその逆について理解する。 2つの円の位置関係とそれらの共通接線について理解する。 平行線の作図，内分点の作図，平方根の作図について理解する。 １　直線と平面　　２　正四面体 空間における直線と平面の基本的な性質について理解する。また，直線と平面の垂直条件，三垂線の定理について理解する。 正四面体の性質について，論理的に考察し説明することができる。
３学期	3章　数学と人間の活動 １節　生きている数学 ２節　考える楽しみ	１　身近にある数学　　２　文明と数学 日常の事象を数学の考えを用いて考察し，問題解決にそれらを利用することができる。また，平面や空間において点の位置を表す座標の考え方と人間の活動との関りについて理解する。 歴史的な話題を通して数学と文化との関りについての理解を深め，数量や図形に関する概念などと人間の活動との関りについて理解したり，目的に応じて考察したりする。 １　遊びの中の数学　　２　整数の世界 パズルやゲームなどに数学的な要素を見いだし，目的に応じて考察することができる。また，数理的なゲームやパズルを通して，数学と文化との関りについての理解を深める。 約数や倍数，ユークリッドの互除法，２進法などの整数の性質と人間の活動との関りについて理解する。また，それらの整数の性質について，関心に基づいて発展させ考察することができる。

履修条件・注意事項等	週末課題、復習課題、長期休業時の課題を丁寧に行い、提出する。 授業の確認問題、復習問題である小テストにはしっかり学習して取り組む。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】１学年全員（一般クラス、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2単位	学年	1年	履修対象	国際教養コース
教科書・副読本	『科学と人間生活』（東京書籍） 『新課程 ニューサポート　科学と人間生活』（東京書籍）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 日常生活の中に存在する科学の基本的な原理・法則を理解する。 **思考力・判断力・表現力** 図やグラフを用いて問題解決をしたり、実験を通して得られた結果を整理分析する。 **主体的に学習に取り組む態度** 目的意識をもって観察，実験などを行い，科学を探究する能力と態度を育てる。	**知識・技能** **定期考査・小テスト・提出物等** **思考力・判断力・表現力** **定期考査・小テスト・提出物等** **主体的に学習に取り組む態度** **授業にとりくむ姿勢、演習問題に前向きに取り組む姿勢等**

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第１編 生命の科学	①　微生物とその利用 さまざまな微生物の成り立ちや働きを理解し、日常生活における微生物の役割など、自身の考えを適切に表現できること。 ②　ヒトの生命現象 ヒトの体の働きや遺伝現象を理解し、調製のしくみや免疫に関わる現象などを表現できること。
	第２編 物質の科学	①　材料とその再利用 金属とプラスチックの成り立ちについて学び、再生可能な資源の再利用について理解し、自然環境の保護などについて表現できる。
2学期	第２編 物質の科学	②　衣料と食品 天然繊維や合成繊維について学び、その性質を理解し、日常生活の中での利用について、表現できる。 体に必要な物質を知り、それらの構成物質の役割を理解し、ヒトの体の成り立ちについて表現できる。
	第３編 光や熱の科学	①　光の性質とその利用 可視光の色や波としての性質を学び、その利用や目に見えない光について理解し、ものが見えることなどを表現できる。 ②　熱の性質とその利用 熱の性質を学び、日常生活の中で熱がどのように利用されているかを表現できる。
3学期	第４編 宇宙や地球の科学	①　太陽と地球 太陽と地球の関係を学び、太陽によって起こる現象について、表現できる。 ②　自然景観と自然災害 地球の活動によって作り出された地形などを学び、今後起こりうる自然災害について考え、表現できる。

履修条件・注意事項等	身近な科学に興味を持ち、ただの学問としてではなく、地球環境の保護活動や自然災害への対応に生かしてほしい。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】１学年国際教養コース

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	２単位	学年	１年	履修対象	全員
教科書・副読本	『改訂版 新編 物理基礎』（数研出版） 『物理基礎学習ノート』（数研出版）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 自然現象を理解し、減少を量的な関係や、時間・空間的な変化から規則性を捉えることができる。 **思考力・判断力・表現力** 自然の規則性をもとに、実験観察に取り組み、結果から様々な考察ができる。また、それを様々な現象に応用できる。 **主体的に学習に取り組む態度** 自然の規則性の理解、現象に対する考察を主体的・科学的に探究することができる。	**知識・技能** 定期考査・小テスト・提出物等 **思考力・判断力・表現力** 定期考査・実験レポート・提出物等 **主体的に学習に取り組む態度** 授業にとりくむ姿勢、演習問題に前向きに取り組む姿勢等

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	第１編 運動とエネルギー	①運動の表し方：速度　加速度　落体の運動等 物体の運動を表現することが物理学における基本である。この章では、物体の運動状態を数式やグラフで表現できること。この表現を応用して落体の運動が表現できること。 ②運動の法則：力のつりあい　運動の法則　摩擦力　流体から受ける力 物体の運動の状態を変えるものは力である。物体に力がどのように作用するのか判断でき、運動の法則に基づいて、力の大きさや向き、生じる加速度を求めることができること。
２学期	第１編 第２編　熱 第３編　波	①　仕事と力学的エネルギー：仕事　運動エネルギー　位置エネルギー等 物体に力が作用すると、エネルギーが発生する。この章では、仕事を定義できること。また、エネルギー保存則を理解し、この法則に基づいて、運動状態を適切に表現できること。保存力の定義が正しく理解できること。 ①　熱とエネルギー：熱量　比熱　熱と物質の状態　不可逆変化など 熱もエネルギーの形態の一つである。この章では、温度の定義を理解し、熱量等の計算ができること。 ①波の性質：波と媒質の運動,波の伝わり方 波は音や光など我々と密接な関係があるが、波の概念は物体とは大きく異なっている。この章では、波の性質、伝わり方、重ね合わせの原理を理解し、波の物理量や縦波の横波表示、また合成波の作図ができること。 ②　音：音の性質,発音体の振動と共鳴･共振 波の性質を理解し、身近な波の現象である音波について考察する。振動体による現象を理解し、振動数を求めることができること。
３学期	第４編　電気 第５編 物理学と社会	①　物質と電気抵抗：電気の性質,電気抵抗,回路 電気の性質や、オームの法則を理解し、直流回路の電流、電圧、抵抗の値が計算できること。また、抵抗で生じるジュール熱の大きさを求めることができること。 ②交流と電磁波：交流,電磁波 直流と交流の違いを理解し、交流の活用方法について理解すること。 ①エネルギーとその利用：エネルギーの変遷,資源と発電 ②物理学が拓く世界：エネルギーの有効利用等

履修条件・注意事項等	理工系の大学・学部や工業系専門学校への進学を希望する場合，入学試験で「物理基礎・物理」を受験する必要があります．進学希望先の受験科目を調べておきましょう． 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】１学年一般クラス

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	学年	１年	履修対象	全員
教科書・副読本	『高等学校　化学基礎』（数研出版） 『新課程 Visual Select 化学基礎ノート』（数研出版）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め化学の基本的な原理・法則を理解する。 **思考力・判断力・表現力** 図やグラフを用いて問題解決をしたり、実験を通して得られた結果を整理分析する。 **主体的に学習に取り組む態度** 目的意識をもって観察，実験などを行い，化学的に探究する能力と態度を育てる。	**知識・技能** 定期考査・小テスト・提出物等 **思考力・判断力・表現力** 定期考査・小テスト・提出物等 **主体的に学習に取り組む態度** 授業にとりくむ姿勢、演習問題に前向きに取り組む姿勢等

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第１編 物質の構成と化学結合	③ 物質の構成 日常生活の中にある物質の成り立ちや現象を理解し、自身の考えを適切に表現できること。 ④ 物質の構成粒子 身の回りの物質が原子やイオンからできており、その構造を理解し、物質に関わる現象などを表現できること。 ⑤ 粒子の結合 物質によって粒子の種類や結合の仕方が異なることを理解し、物質の性質について表現できること。
2学期	第１編 物質の構成と化学結合 第２編 物質の変化	③ 粒子の結合 ③ 物質量と化学反応式 原子やイオンは非常に小さく、モルというまとめた単位で表すことを理解し、モルを元に物質の量や化学変化の量的な関係を、取り扱うことができること。 ④ 酸と塩基の反応 酸・塩基の性質を理解するとともに、中和反応を考えたり、量的な関係を考察できること。
3学期	第２編 物質の変化	③ 酸と塩基の反応 ④ 酸化還元反応 酸化および還元の広い意味での定義を理解し、酸化還元反応およびその量的考えを表現できること。

履修条件・注意事項等	理工系の大学・学部や工業系専門学校への進学を希望する場合、入学試験で「化学基礎・化学」を受験する必要があります。進学希望先の受験科目を調べておきましょう。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】１学年一般クラス

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位数	３単位	学年	１年	履修対象	全員
教科書・副読本	『新高等保健体育』（大修館）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 運動の多様性や体力の必要性について理解する能力 各運動の技能 **思考力・判断力・表現力** 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力 **主体的に学習に取り組む態度** 一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲 生涯にわたって継続して運動に親しむ態度	**知識・技能** 実技試験 **思考力・判断力・表現力** 各運動における競技力向上のための探究活動 **主体的に学習に取り組む態度** 授業への取り組み グループ活動（試合形式やグループ練習）

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	A 体つくり運動	・自他の心と 体に向き合って，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，心と体をほぐしたり，体の動き を高める方法を学んだりすることができる。
	C 陸上競技	・自己の課題と体調に応じて適切な練習方法を選ぶことができる。陸上競技を継続して楽しむための自己に適したかかわり方を見付けることができる。
	D 水泳	・選択した泳法について、自己の改善すべきポイントを見付けることができる。健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選ぶことができる。
	F 武道	・自己の技能・体力の程度に応じた得意技を見付けることができる。武道を継続して楽しむための自己に適したかかわり方を見付けることができる。
	G ダンス	・練習や動きを見せ合う発表などの際に、運動観察を通して仲間の課題を指摘したり、課題解決のアイディアを伝え合ったりしながら取り組むことができる。発表や仲間との交流の場面では、互いの違いやよさを指摘すること。
2学期	E 球技	・提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶことができる。仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘することができる。
	H 体育理論	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。
3学期	C 陸上競技	・目標タイムを達成するペースを自己の技能・体力の程度に合わせて設定し、そのペースに応じたスピードを維持して走る。
	E 球技	・作戦などの話合いの場面で，合意を形成するための適切なかかわり方を見付けることができる。健康や安全を確保するために，体調に応じて適切な練習方法を選ぶことができる。球技を継続して楽しむための自己に適したかかわり方を見付けることができる。

履修条件・注意事項等	学校指定体操服・水着の着用 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】１学年全員（一般クラス、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	学年	１年	履修対象	全員
教科書・副読本	『新高等保健体育』『図説新高等保健』（大修館書店）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 個人及び社会生活における健康・安全についての知識・技能 **思考力・判断力・表現力** 合理的、計画的な解決に向けての思考力、判断力 目的や状況に応じて他者に伝える力 **主体的に学習に取り組む態度** 明るく豊かで活力ある生活を営む態度	**知識・技能** 定期テスト **思考力・判断力・表現力** 授業ノート・探究活動 **主体的に学習に取り組む態度** 授業への取り組み、発表等を総合的に判断

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	１単元 **現代社会と健康** 1日本における健康課題の変遷 2健康の考え方と成り立ち 3ヘルスプロモーションと健康にかかわる環境づくり 4健康に関する意思決定行動選択 5現代における感染症の問題 6感染症の予防 7性感染症・エイズとその予防 8生活習慣病の予防と回復	・健康問題の移り変わりと健康水準の向上について理解する。 ・健康についての考え方や成立要因について理解する。 ・意志決定行動選択を健康問題と関連させて理解し影響を与える要因を理解する。 ・ヘルスプロモーションに基づき、個人の健康を向上させるための社会的支援のしくみを理解する。 ・現在の感染症問題の特徴を理解する。 ・問題となっている感染症への対策を理解する。 ・エイズ等の性感染症の基礎的な知識とその予防法を理解する。 ・生活習慣病と日常生活との関連性を学び、その予防法を理解する。
２学期	9 身体活動・運動と健康 10食事と健康 11休養・睡眠と健康 12がんの予防と回復 13喫煙と健康 14飲酒と健康 15薬物乱用と健康 16精神疾患の特徴 17精神疾患への対応	・運動と健康の関連性を知り。健康維持のための運動の仕方等を理解する。 ・食事と健康の関連性を知り、健康的な食生活を理解する。 ・休養が心身の疲労回復とどのように関わっているか理解する。 ・がんについては、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できるようにする。 ・喫煙が及ぼす健康・社会的問題を理解する。 ・飲酒が及ぼす健康・社会的問題を理解する。 ・薬物乱用が及ぼす健康・社会的問題を理解する。 ・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることを理解できるようにする。 ストレスに適切に対処できるようにその方法を理解する。 ・精神疾患の予防と回復には、早期に心身の不調に気付くこと、ストレスを緩和することなどが重要であることを理解できるようにする。
３学期	２単元 **安全な社会生活** 1事故の現状と発生要因 2交通事故防止の取り組み 3安全な社会の形成 4応急手当の意義と救急医療体制	・現代社会における交通事故の現状を理解し、交通事故を引き起こす要因についても理解する。 ・安全な運転のために運転者に必要とされるものを理解する。 ・安全な交通社会をつくるための方策や車両の安全対策について

	5心肺蘇生法 6日常的な応急手当	理解する。 ・応急手当の意義や手順を理解する。 ・心肺蘇生法の原理・基礎知識・手順を理解する。 ・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法を理解し実行できるようにする

履修条件・注意事項等	予習復習を必ず行う。 課題を忘れずにやる。 授業に集中し、主体的に取り組む。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】１学年全員（一般クラス、国際教養コース）

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	３単位	学年	１年	履修対象	全員
教科書・副読本	『ELEMENT English Communication Ⅰ』　『英単語Stock3000』（文英堂）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 音声、語彙、表現、文法などの理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。本文で扱った発音、読解スキル、文化を理解し、それを用いて正しく英文を表現できる。 **思考力・判断力・表現力** コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、外国語で情報や考えなどの概要や要点、書き手の意図などを的確に理解したり、活用して適切に表現したり伝え合ったりできる。 **主体的に学習に取り組む態度** 背景にある文化に対する理解を深め、主体的に、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	**知識・技能** 小テスト・定期考査 英文を読み、聞き、その内容を理解する技能を身につけているかを評価する。 **思考力・判断力・表現力** 実技・課題・定期考査 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり書いたりできるかを評価する。 **主体的に学習に取り組む態度** パフォーマンステスト 本文に関連したテーマについて、学習した機能表現を用いて自分の意見を話したり書いたりできるかを評価する。

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	Lesson 1	Intercultural Relationships 地図・地形を表す語彙・表現／英語の５文系、受動態、to不定詞
	Lesson 2	Love beyond Species ペットの世話に関する語彙・表現／現在完了、現在完了進行形、分詞の限定用法
	Lesson 3	Contributing to Our Planet エネルギー・公害に関する語彙・表現 ・各Part本文の内容について、事実や自分の考えを整理し、新出語やKey Phrases, Key Language の言語材料を用いて、本文の内容を再生したり、自分の意見を話したり、書いたりする技能を身につけている。 ・本文の内容を自分のことばで簡潔に伝えることができる。また本文に関連したテーマの英文を聞いて、意見をやりとりすることができる。
2学期	Lesson 4	Messages for World Peace 国際連合・平和維持活動に関する語彙・表現／過去完了形、知覚動詞
	Lesson 5	Respecting Each Other 野球に関する語彙・表現／関係代名詞のwhat、関係副詞
	Lesson 6	Language and Culture 英文の書き方に関する語彙・表現／関係代名詞の非限定用法 ・各Part本文の内容について、事実や自分の考えを整理し、新出語やKey Phrases, Key Language の言語材料を用いて、本文の内容を再生したり、自分の意見を話したり、書いたりする技能を身につけている。 ・本文の内容を自分のことばで簡潔に伝えることができる。また本文に関連したテーマの英文を聞いて、意見をやりとりすることができる。 ・身近なテーマに関する設定を理解し、ターゲットとなる文法事項を

		使って質問に答えたり、自分の意見を表現しようとしている。
３学期	Lesson 7	Technology and Discoveries 実験室に関する語彙・表現／形式主語のit、be動詞の補語になるthat節
	Lesson 8	Standing Up for Human Rights 人権・福祉に関する語彙・表現／仮定法過去、仮定法過去完了、過去完了進行形

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝３：４：３ 【評価母集団１】１学年一般クラス 【評価母集団２】１学年国際教養コース

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅰ	単位数	２単位	学年	１年	履修対象	全員
教科書・副読本	『APPLAUSE ENGLISH Logic and Expression Ⅰ』、『英単語Stock3000』（文英堂）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 各文法事項を理解し、適切に使うことができる。 **思考力・判断力・表現力** **各活動を通じて、場面に応じたやりとりができる。** **主体的に学習に取り組む態度** 各学習目標に合わせた、積極的に表現しようとする態度。	**知識・技能** 小テスト・定期考査 教科書のFocus, Exercises, Connecting Activityの問題を使って各文法事項の用法を理解し、適切に使うことができるかを評価する。 **思考力・判断力・表現力** 実技・課題・定期考査 教科書のタスク活動とMain Activityの学習を通して、パートナーとやりとりができるかどうかを評価する。 **主体的に学習に取り組む態度** パフォーマンステスト 間違うことを恐れずに、対話をしているか、うまく言えないことがあっても別の語句や表現を使って言い換えたりするなどして対話を継続しようとしているか、またあいづちを打ったり質問をするなどして、相手の話を関心を持って聞いているか、について観察して評価する。

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	Lesson　1	①現在形、過去形、進行形の用法が理解できる。 ②現在形、過去形、進行形を使って自分や周りの人などを表現できる。 ③あこがれの人について、わかりやすく的確に紹介しようとする。
	Lesson　2	①未来を表すさまざまな表現の用法とその違いが理解できる。 ②未来を表す表現を使って、これから起こることなどを表現できる。 ③外国から来たお客さんと過ごす週末の予定を積極的に伝えようとする。
	Lesson　3	①さまざまな助動詞の用法が理解できる。 ②さまざまな助動詞を使って、自分ができることなどを表現できる。 ③富士登山の際の注意事項について、積極的に発表しようとする。
	Lesson　4	①現在完了形、現在完了進行形、過去完了形の用法が理解できる。 ②さまざまな完了形を使って、自分の経験などを表現できる。 ③これまで経験したことについて友人に尋ね、積極的に紹介しようとする。
	Lesson　5	①さまざまな形の受動態の用法が理解できる。 ②さまざまな形の受動態を使って、身の回りのものなどを表現できる。 ③好きな日本の食べ物について、積極的に紹介しようとする。
２学期	Lesson　6	①比較級と最上級の用法が理解できる。 ②比較級や最上級を使って、身の回りのものなどを表現できる。 ③ギネスブックに載せるための計画について、積極的に紹介しようとする。
	Lesson　7	①同等比較や倍数比較など、さまざまな比較表現が理解できる。 ②さまざまな比較表現を使って、身の回りのものなどを表現できる。 ③食品ロスを減らす方法について、グラフの情報と合わせて発表し

		ようとする
	Lesson 8	①動名詞のさまざまな用法とto不定詞の名詞的用法が理解できる。 ②動名詞やto不定詞を使って、身の回りのものや将来の計画などを表現できる ③災害への備えや発生時に必要なことについて、的確に紹介しようとする。
	Lesson 9	①to不定詞の形容詞的用法と副詞的用法が理解できる。 ②to不定詞を使って、活動の目的や事物の使用目的などを表現できる。 ③留学先に持っていきたいおみやげについて、積極的に紹介しようとする。
	Lesson 10	①現在分詞と過去分詞のさまざまな用法が理解できる。 ②現在分詞や過去分詞を使って、人や身の回りのものなどを詳しく表現できる ③身の回りで起こったことについて、順序立てて説明しようとする。
	Lesson 11	①関係代名詞のさまざまな用法が理解できる。 ②関係代名詞を使って、人や身の回りのものを詳しく表現できる。 ③オリジナル製品のアイディアについて、積極的に発表しようとする。
3学期	Lesson 12	①関係副詞のさまざまな用法が理解できる。 ②関係副詞を使って、場所や時などを詳しく表現できる。 ③おすすめの観光地について、その魅力が伝わるように説明しようとする。
	Lesson 13	①仮定法の基本的用法が理解できる。 ②仮定法を使って、願望や助言などを表現できる。 ③友だちから相談を受けた悩みについて、的確に助言しようとする。
	Lesson 14	①接続詞を伴うさまざまな表現が理解できる。 ②接続詞を使って、理由などを表現できる。 ③春休みに行きたい場所について、理由と合わせて発表しようとする。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝３：４：３ 【評価母集団１】１学年一般クラス 【評価母集団２】１学年国際教養コース

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	学年	１年	履修対象	全員
教科書・副読本	『家庭基礎』（東京書籍）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを主体的・総合的に捉え，家族・家庭の意義，社会との関わりについて理解を深め，それらに係る技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 **主体的に学習に取り組む態度** 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。	**知識・技能** 定期考査　製作物　提出物 **思考力・判断力・表現力** 探究活動　発表　定期考査 **主体的に学習に取り組む態度** 授業への取り組み グループ活動 作品製作や実習レポートなどの取り組み

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	自分らしい生き方と家族 衣生活を作る	・ライフステージごとの特徴・課題を理解する。 ・男女共同参画社会の実現できる社会を考える。 ・変化する家族・家庭、家族の法律について学び、現在の課題を理解する。 ・衣服の起源、機能や役割、衣服素材の種類や性能を理解する。 ・衣生活と資源・環境、健康障害や事故などについて学習する。 ・衣服の形やデザインについて学ぶ。 ・被服作品を製作し、構成や縫製について学ぶ。
2学期	食生活を作る 消費行動を考える	・栄養素と食品、食品衛生について知識を身に付け、調理につなげられるようにする。 ・食品衛生について学び、安全な実習の基礎になるようにする。 ・バランスのとれた食事計画ができるようにする。 ・調理実習を通して、知識を確認し調理技術を向上させる。 ・契約、多様な販売方法や支払い方法、問題商法について知り、解決方法やより良い消費行動を理解する。 ・家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する。 ・経済的自立や生涯を見通した働き方、家計のリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて学ぶ。 ・資源・環境に配慮した生活スタイルについて考え、実行できるようにする。
3学期	住生活を作る 子どもとかかわる 高齢者とかかわる	・住まいの機能、文化、風土、ライフスタイルとのかかわりについて理解する。 ・子どもの心身の発達と特徴について学習する。 ・子どもの保育環境、法律について考え、理解する。 ・高齢社会の現状と課題について理解を深める。 ・高齢者の心身の特徴について理解し、それに対する社会保障制度や社会福祉の重要性について理解する。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】１学年全員（一般クラス、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	学年	１年	履修対象	全員
教科書・副読本	『最新情報Ⅰ』、『2023事例でわかる情報モラル＆セキュリティ　30テーマ』（実教出版）、『ポイントマスター基礎から始める情報リテラシー』（実教出版）、『Pythonでまなぶプログラミング』（実教出版）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し，技能を身に付けているとともに，情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解を深めるようにする。 **思考力・判断力・表現力** 事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 **主体的に学習に取り組む態度** 情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，情報社会に主体的に参画する態度を養う。	**知識・技能** 定期考査、小テスト、課題製作 **思考力・判断力・表現力** グループワーク、課題製作、発表 **主体的に学習に取り組む態度** 授業への取り組み、グループワーク、課題製作

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	情報社会	✓ 情報社会の現状について理解する。 ✓ 情報の特性について理解する。 ✓ 情報のモラルと情報化が個人に及ぼす影響について理解する。
	情報社会の法規と権利	✓ 知的財産権について理解する。 ✓ 他人の著作物を適切に利用したり，自分の著作物を公開したりする方法を理解する。 ✓ 個人情報とプライバシーについて理解し，それらを保護する方法を身に付ける。
	情報技術が築く新しい社会	✓ 社会の中で利活用されている情報技術について理解する。 ✓ 様々な情報技術について理解し，課題解決の方法をについて考える。
	メディアとコミュニケーション	✓ メディアには種類があることを理解し，メディアの発達について知る。 ✓ メディアの特性について理解し，目的に応じたメディアを選択することができる。 ✓ コミュニケーションの形態には違いがあることを理解する。 ✓ インターネットを活用したコミュニケーションの特徴について理解する。
	情報デザイン	✓ 社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。 ✓ 情報を正確に，わかりやすく伝える方法について理解する。
	情報デザインの実践	✓ 報告書やレポート，論文を作成するための手順について理解する。 ✓ プレゼンテーションの手順とスライド作成について理解する。 ✓ Webページ作成の方法について理解する。
2学期	情報システムの構成	✓ コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。 ✓ ソフトウェアの種類とインターフェースについて理解する。
	情報のデジタル化	✓ アナログとデジタルの違いについて理解する。 ✓ 2進数と情報量の関係について理解する。 ✓ コンピュータの演算の仕組みを理解する。 ✓ 数値や文字をデジタル化する方法を理解する。 ✓ コンピュータでの数値の計算方法について理解する。 ✓ 音声をデジタルで表現する方法について理解する。 ✓ 静止画や動画をデジタルで表現する方法について理解する ✓ 情報のデータ量を小さくする方法について理解する。

	情報通信ネットワーク	✓ 情報通信ネットワークの構成について理解する。 ✓ ネットワークを効率的に利用するための取り決めについて理解する。 ✓ Webページとメールの仕組みについて理解する。 ✓ ネットワークを通じてデータを効率よく転送する工夫について理解する。
	情報セキュリティ	✓ 脅威に対する様々な安全対策について理解する。 ✓ 情報セキュリティを確保する方法と技術について理解する ✓ 情報を安全に取り扱うための技術について理解する。
3学期	問題解決	✓ 問題解決の手順について理解する。 ✓ 問題の発見の方法について理解する。 ✓ 問題を明確化する方法について理解する。 ✓ 解決案を検討したり，整理・分析したりする方法について理解する。 ✓ 合意形成を目指した解決案を決定する方法について理解する。 ✓ 実行した解決案を評価する方法について理解する。
	データの活用	✓ データを収集したり，整理したりする方法について理解する。 ✓ 表計算ソフトの活用方法について理解する。 ✓ データを適切なグラフや図に表現する方法を理解する。 ✓ データ分析の手法について理解する。 ✓ データベースの種類とその仕組みについて理解する。
	モデル化	✓ モデル化の意味について理解する。 ✓ モデル化の分類について理解する。 ✓ モデル化する手順と方法を理解し，様々なモデルを作成する。
	シミュレーション	✓ シミュレーションの意義について理解し，確率的モデルのシミュレーションを行う。 ✓ 問題解決のためにシミュレーションを活用する。
	プログラミングの方法	✓ アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 ✓ プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。
	プログラミングの実践	✓ 変数を使用したプログラムを作成する。 ✓ 関数を使用したプログラムを作成する。 ✓ 多くのデータから目的のデータを探し出すプログラムを作成する。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】１学年全員（一般クラス、国際教養コース）